

# ScreenBeam750 連携マニュアル

本書は、ScreenBeam750 と xSync Classroom を接続し、xSync Classroom の画面を外部ディスプレイに表示させる手順の説明書です。

ScreenBeam750 連携マニュアル

PVCXC-M019-C

本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

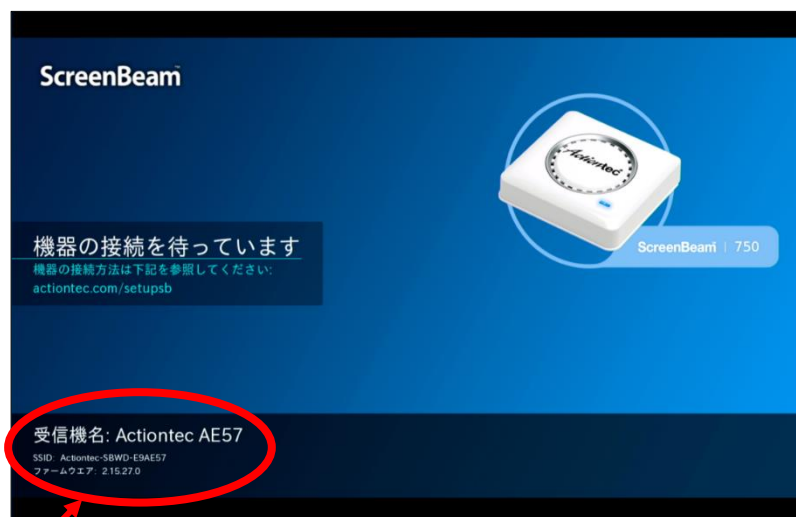
## 目次

接続編.....	2
ScreenBeam750 の起動方法.....	2
外部ディスプレイと ScreenBeam750 の接続方法 .....	2
外部ディスプレイと ScreenBeam750 の切断方法 .....	3
設定編.....	4
ScreenBeam750 の設定 .....	4

## 接続編

### ScreenBeam750 の起動方法

1. 電子黒板を接続している OA タップを教室の電源コンセントに接続します。
2. 外部ディスプレイと ScreenBeam750 の電源を入れ、パソコンを起動します。
3. 外部ディスプレイの入力を「HDMI」にし、ScreenBeam750 の待受画面を表示します。



#### 補足

- 外部ディスプレイ画面左下に接続先の機器名が表示されます。
- 状況により、以下のように機器名が付けられています。  
(例) IWB-1、IWB-2

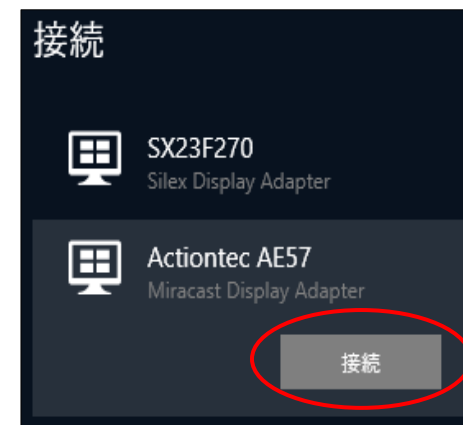
### 外部ディスプレイと ScreenBeam750 の接続方法

1. xSync Classroom のホーム画面左下にある [提示機に接続] をタップします。

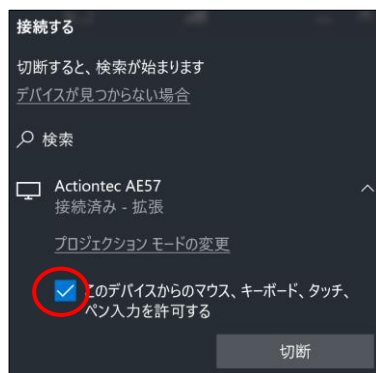


接続可能な機器が一覧表示されます。

2. 受信機を選択して、[接続] をタップします。



パソコン画面右側に以下画面が表示されます。



接続時：パソコン側画面右側



接続後：外部ディスプレイ側

## 外部ディスプレイと ScreenBeam750 の切断方法

1. xSync Classroom のホーム画面左下にある [提示機に接続] をタップします。



接続している機器が表示されます。

2. 接続している機器を選択して、[切断] をタップします。



3. [このデバイスからのマウス、キーボード、タッチ、ペン入力を許可する] にチェックを入れます。

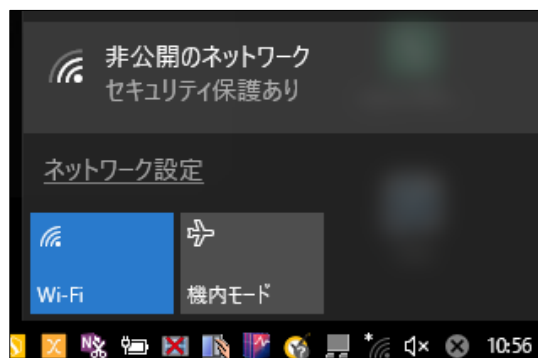
### 補足

- チェックを入れると、ScreenBeam750 の USB ポートに接続している機器 (イーージーコントローラーやタッチパネル) がある場合はワイヤレスでイーージーコントローラーやタッチパネルの操作ができるようになります。

## 設定編

### ScreenBeam750 の設定

1. ScreenBeam750 を開梱して、AC アダプターを接続します。  
ScreenBeam750 の電源が入ります。
2. 外部ディスプレイの HDMI 端子に、ScreenBeam750 を挿入します。
3. パソコンの無線接続設定画面を開き、候補欄最下部の「非公開のネットワーク」を選択します。



4. 外部ディスプレイに表示されている ScreenBeam750 の SSID を入力して、[次へ] をタップします。



**補足** 上記の SSID は一例です。

セキュリティーキー入力画面が表示されます。

5. セキュリティーキーに「12345678」を入力して、[次へ] を選択します。  
ホームネットワークの確認画面が表示されます。
6. [(はい)] を選択します。  
ScreenBeam750 とパソコンが無線接続され、接続用の IP アドレスが外部ディスプレイに表示されます。
7. Web ブラウザーを起動し、アドレスバーに「192.168.51.1」と入力します。  
Web ブラウザー上に証明書関連の表示がされます。

8. [このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)] を選択します。

セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピューターからサーバーに送信される情報を盗み取る意図が示唆されている場合があります。

このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。

[ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。](#)

**[このサイトの閲覧を続行する \(推奨されません\)。](#)**

[詳細情報](#)

ログイン画面が表示されます。

9. [ユーザーネーム] と [パスワード] を以下のように入力し、ログインします。

ユーザーネーム	Administrator
パスワード	Actiontec

ユーザーネーム

パスワード

10. [機器の設定] タブの [機器名へアクセス] を「有効」にし、[機器名] に導入先にあった名称を入力します。

機器名へアクセス  有効  無効

機器名

**補足** 上記の設定は一例です。

11. [機器の設定] タブのタイムゾーンを「Tokyo」に変更して、[適用] ボタンをタップします。

タイムゾーン

夏時間を有効にする

確認画面が表示されます。

**12.** [OK] をタップします。

ログイン画面に戻ります。

**13.** 再度ログインして、[機能] タブへ移動し、[PIN ペアリングを強制する] を「オフ」に設定します。**補足**

- 本書の設定は参考です。PIN ペアリングをオンにてご利用の場合は、接続時に8桁の数字入力が必要となります。オンにてご利用の場合は、「固定PIN」項目以外は初期値のままご利用ください。ご利用環境を考慮し、管理者とご相談の上、設定を行ってください。

**14.** [機能] タブ画面下の [適用] ボタンをタップします。

機器設定変更の確認画面が表示されます。

**15.** [OK] をタップします。

ScreenBeam750 が再起動します。

**16.** パソコンの [すべての設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi] の [既知のネットワークの管理] から SSID 情報 (Actiontec-SBWD-\*\*\*\*\*) を選択して削除します。

ScreenBeam750 の再起動が完了して外部ディスプレイに ScreenBeam750 の待受画面が表示されたら、作業完了です。